



林医師（左）の診察を受ける児童

市教委は16日から17日にかけて、旭川医大の協力で耳鼻咽喉科検診を市内の小学4年生と中学3年生を対象に行つた。今年も旭川医大の林達哉医師らが児童生徒の問診

と診察を行つた。

平成12年度から同医大専門医の派遣を受けて毎年行つているもので、今年も市立根室病院耳鼻科の出張医として定期診察

している林医師と、鈴木詩織医師が協力。昨年度欠席者を含む対象児童393人を2人体制で一人ずつ診察した。同検診は16日に光洋中

平成30年度の結果は、受診者数382人に對して経過観察者0人、要受診者53人。医師の方針で何らかの症状がある場合に要受診とするため、経過観察者は0人となつてゐる。今年の要受診者数はまだ明らかにされていない。

（荒木）

（荒木）

や成央小など9校246人、17日に北斗小や柏陵中など6校147人が受診。林医師らの問診を受け、耳や喉の様子の診察を受けた。

小中で耳鼻咽喉科検診 旭医大協力 393人を診察